



親切・丁寧・平等
医療法人社団 和恵会

みちくさ

年2回発行

第45号

2025年4月
発行

表紙紹介

・お正月に和恵会医療院の入所者様と獅子舞のポーズで写真を撮りました。



※個人情報保護法により、ご本人の同意を得て掲載しております。

特集
P4、5

第32回日本慢性期医療学会 第35回全国介護老人保健施設大会

理事長あいさつ	2	栄養特集・季節のレシピ	6
湖東クリニックの紹介	3	季節の写真	7
日本慢性期医療学会・全国介護老人保健施設大会	4、5		

お問い合わせは
法人本部まで

TEL.053-440-5505

【メールアドレス】
honbu@kotou-wakeikai.com

<http://www.kotou-wakeikai.com/>

QRコードからご覧いただけます

ホームページ



Instagram



フォロー
お願いします



医療法人社団 和恵会
理事長 ひろ かず 猿原 大和

日頃より医療法人社団和恵会の各種サービスをご利用頂き、誠に感謝しています。法人職員を代表し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、いよいよ本年より、いわゆる「2025年問題」として注目されている時期を迎えます。団塊の世代（昭和22年から昭和24年に生まれた世代を指し、第一次ベビーブーム世代とも呼ばれます。）が後期高齢者となるため、介護や医療の需要がこれまで以上に増加することが予想されている問題です。私たちのような医療・介護に携わる者にとって、その責任がますます重くなる時代を迎えました。こうした課題を未来への成長機会と捉え、私たちは以下の取り組みを進めてまいります。

一つ目は、リハビリ機能の強化です。日本は世界的な長寿国と言われていますが、平均寿命と健康寿命の差は決して小さくありません。健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことです。

病気や怪我、または、入院などをきっかけに体力が低下、歩くことが困難になり、日常生活に介助が必要になった高齢者をよく見かけます。このような方の在宅復帰、在宅生活を支援するため、介護老人保健施設みずほケアセンターは、リハビリ専門職を増員、在宅復帰強化型老健として運営してまいりましたが、2025年3月からは、さらなる強化を目指し、在宅復帰超強化型老健に変革します。要するに、「在宅に帰ること」を主目的とした施設に生まれ変わります。（これまで通り、長期入所にも対応できます）

また、「個別ケア」が大切な時代になりました。当法人では、平成30年8月より訪問リハビリテーションの提供を始めています。訪問リハビリテーションとは、リハビリ専門職が直接、利用者様のご自宅に訪問し、自宅での生活を支援するために自宅でリハビリテーションを行うサービスです。ご家族に介護する際のアドバイスや相談も行うこともできます。現在、法人内4施設で訪問リハビリテーションを行っています。

二つ目は、ICT技術や介護ロボットの活用を通じたケアの質向上です。人口減少時代、限られた人材の中で、より効率的かつ質の高いサービスを提供できるよう、新しい技術を積極的に取り入れてまいります。当法人の介護医療院においては電子カルテを導入しており、看護・介護記録などの時間を短縮させることで、看護・介護に当たれる時間を増やすことが出来るようになりました。また、センサー内蔵型の見守り支援ベッドも導入しています。入所者様の動きを感知することで、必要時に必要なケアを提供できるように努めています。

三つ目は、地域連携の強化です。医療、福祉、行政、地域住民の皆様と連携し、「住み慣れた地域で安心して暮らせる環境」を構築するために尽力しています。浜松市も例外なく、高齢者の救急搬送数が急増しており、コロナのパンデミックも重なり搬送困難例が増えました。当法人の介護施設はすべて浜松市内の複数の病院を協力医療機関として契約しております。定期的な会議もしており、必要な時に救急搬送もスムーズに行うことができます。

当法人が持続可能な事業運営を通じて、地域に貢献し続けることをお約束いたします。そして、職員一同、サービス技術の向上に努めて参りますので、今後ともご支援頂きますよう、よろしくお願いいたします。



湖東クリニック (介護医療院 湖東病院内) のご紹介

物忘れが
目立つよう
になった

体力が
衰えてきた

お薬について
相談したい

健康状態に
ついて
相談したい

自宅で暮らして
いけるか心配

<湖東クリニックでは・・・>

- ・各種健康相談を始め内科疾患、認知症に対する診療に対応しています。
- ・CT、レントゲン、心電図、エコー等の各種検査にも対応しています。
- ・介護保険を利用したデイケアや介護医療院も併設しているためご自宅での生活が難しくなってきた患者様に対して速やかな介護サービスへの対応もできるようになっています。

【認知症クイズ】

Q 1 認知症になる主な原因は？

- ①脳が萎縮するから
- ②体が痩せるから
- ③呼吸が苦しくなるから

Q 2 認知症の人が苦手なことは？

- ①昔の事を覚えていること
- ②少し前のことを覚えていること

Q 3 認知症は脳のどの部分が小さくなる？

- ①小脳
- ②延髄
- ③海馬



診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:00	●	●	●	●	●	—
15:00~17:00	●	●	—	●	●	—

答え Q 1 ① Q 2 ② Q 3 ③

<連絡先>

浜松市中央区伊左地町8151

湖東クリニック (介護医療院 湖東病院内)

診療科：内科、皮膚科

TEL：053-486-2222 FAX：053-486-2618

2024年11月に横浜にて第32回日本慢性期医療学会、岐阜では第35回全国介護老人保健施設
介護施設関係者に発信することができました。

医療法人社団和恵会は、このような学会活動に積極的に参加しています。学ぶことで知識
にしていきます。

第32回日本慢性期医療学会(横浜)

誤配膳をなくす取り組みについて

湖東ケアセンター 管理栄養士 小澤美香

栄養管理課では少しでも誤配膳の件数を減らして、利用者様に安全・安心なお食事が提供できるように「誤配膳をなくす取り組みについて」というテーマで発表しました。

介護施設では利用者様1人1人に合ったお食事を提供しています。食形態は常食、ソフト食、ミキサー食、ゼリー食など、食材の大きさや固さやトロミが違うものに分かれています。さらに療養食といって糖尿病食や心臓高血圧食など利用者様の病状に合わせた献立を作成しています。お食事を全てお盆に載せ、献立の内容、食形態、異物、配膳車と食札のフロアが一致しているか等、時間内に確認をしてから利用者様に提供しています。

学会ではこの配膳確認で気づいた誤配膳を集計し、対策を実行する前後で比較、評価したものを発表しました。この取り組みを通して「誤配膳」の件数を減らすことは、配膳確認の時間の確保と、より正確にチェックできることにつながると思いました。今後も基本的な配膳方法の徹底と正確な配膳確認に努め、安全・安心なお食事を提供していきたいと思います。

食べる楽しみを継続するために

介護医療院湖東病院 言語聴覚士 奥山宏佳

摂食機能療法のオーダー数が年々増加傾向にあり、摂食機能療法のニーズが高まる中で感じた、言語聴覚士の役割について発表させていただきました。

言語聴覚士として、嚥下機能評価に基づいた摂食機能訓練を行うと共に、入所者様、ご家族様のご意向に沿った多職種協同支援を進めることで、利用者様が安全かつ、食べる楽しみを感じながら食事を摂れるよう支援を行っています。また、茶話会など病棟イベントへ積極的に参加、協力し、安全におやつが楽しめるような環境作りを行っています。

今後は嚥下評価内容や食事の様子などを病棟やご家族様と共有し、理解を得ることで、誰もが納得できるような支援を進めていきたいと考えます。また、令和6年度からリハ、栄養、口腔の一体的取り組みが開始されました。管理栄養士や歯科衛生士と課題や目標について効果的に共有し、食事を通して利用者様の生活の質向上を目指していきたいと考えます。



設大会が開催され、それぞれの施設の取り組みを全国の病院、

・技術を向上させ、地域の高齢者医療・介護をより良いもの



第35回全国介護老人保健施設大会(岐阜)

在宅強化型に向けて ～「また来たい」在宅復帰支援～

みずほケアセンター 看護師 作田顕子・松本真知子

今年度8月より在宅強化型への移行を進めることとなり、今回取り組んだ体制整備や業務調整の報告、また事例の振り返りから今後の在宅復帰支援に役立てようと考え、その取り組みについて発表しました。

ご本人の「家に帰りたい」という希望を尊重し、退所後も在宅生活が円滑に継続できるよう入所中より在宅復帰にむけたチームアプローチを行い、「また来たい」と思える関係性の途切れない施設をつくることも私たちの役割だと感じました。

老健入所者の在宅復帰に向けた支援

ケアプランセンター白脇 主任介護支援専門員 落合喜一・中村久美子

住み慣れた自宅での生活は難しいため「家みたいな施設」を選択し、本人の望む生活を実現する新たな一歩を踏み出した事例を紹介しました。本人からの少ない意思表示を周囲がキャッチし、その都度本人に意向の確認と調整を行いました。新居で一から生活を構築していく際には、本人の意向の確認と適切な調整、モニタリングを行うことで、施設でありながらも本人の自由と安心を保つことができる生活の実現に近づけることができると分かりました。



高齢者は特に注意が必要です！

かくれ脱水を防ぎましょう

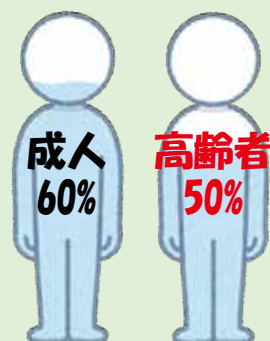
脱水症は夏の暑い季節だけではなくありません。たくさんの汗をかいていなくても気づかないうちに体内の水分が不足状態になることを「かくれ脱水」と言います。高齢者は筋肉量が減少し水分を保持しにくくなるため、体内の水分量が減少します。さらにのどの渇きを感じにくくなることで脱水症のリスクが高くなります。

体内水分量のちがい

水分摂取のポイント

●こまめに水分補給をしましょう

水分補給は1回にたくさんとるよりこまめに摂取するのが効果的です。のどが渇いていなくてもお茶や水を飲むように心がけましょう。



●食事からも摂取しましょう

汁物やゼリー、果物など水分の多いものを食事にとりいれましょう。



●塩分補給も忘れずしましょう

汗をかくことで体内の塩分も失われてしまいます。汗をたくさんかいたら適度な塩分も摂りましょう。高血圧、心臓や腎臓に病気がある方は塩分制限を守ってください。



※持病などにより水分制限がある場合は医師の指示に従いましょう。

旬の野菜



ニラの香味たれ



あまり知られていませんが、ニラは春が旬の野菜です。

ニラはマルチビタミン野菜と呼ばれるほどビタミンが豊富な野菜で、特にβカロテン(ビタミンA)が多く含まれているため、目や皮膚などの健康維持に役立ちます。

旬のニラは、特に香りが強く、柔らかいのが特徴です。旬のニラの柔らかさと香りを生かした香味たれを紹介します！

材料

・ニラ 1束 (約100g)

作り方

- ①ニラを幅5mmに切って耐熱容器に入れ、500Wのレンジで30秒加熱
- ②たれの材料を小鍋に入れ、軽く混ぜて中火でひと煮立ちさせる
- ③粗熱が取れたら加熱したニラと合わせる

〇たれの材料

生姜みじん切り	・・・	1かけ分	
にんにくみじん切り	・・・	1/2かけ分	
酒	・・・	大さじ3	
醤油	ごま油	・・・	各大さじ2
みりん	黒酢	・・・	各大さじ1



茹でた豚肉や鶏肉・豆腐などの淡泊な素材と相性が良く、おいしく食べられます

季節の写真

各施設で季節に沿った行事の写真をご紹介します。

10月



11月

12月



1月

2月



3月

※個人情報保護法により、ご本人の同意を得て掲載しております。

〈介護医療院〉〈通所リハビリテーション〉〈短期入所療養介護〉〈訪問リハビリテーション〉

介護医療院 湖東病院(169床) 〒431-1111 浜松市中央区伊左地町8151

〈介護医療院〉〈短期入所療養介護〉

湖東ケアセンター(60床)

湖東クリニック(内科・皮膚科)

TEL.053-486-2222(代表) FAX.053-486-2618

北部地域連携室 TEL.053-486-2222 FAX.053-486-2618

伊佐見訪問看護ステーション TEL.053-486-3883 FAX.053-488-5525

ケアプランセンター湖東 TEL.053-486-5566 FAX.053-488-5525



伊佐見山崎線バス停湖東病院前下車

〈介護老人保健施設〉〈通所リハビリテーション〉〈短期入所療養介護〉〈訪問リハビリテーション〉

白脇ケアセンター(100床) 〒430-0846 浜松市中央区白羽町1424

TEL.053-444-3131(代表) FAX.053-444-3132

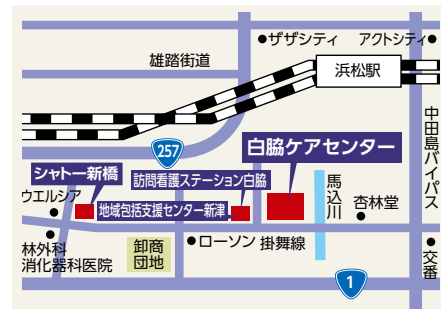
〒432-8053 浜松市中央区法枝町248-3

訪問看護ステーション白脇 TEL.053-444-3030 FAX.053-444-3005

ケアプランセンター白脇 TEL.053-444-3000 FAX.053-444-3005

ヘルパーセンター浜松(白脇出張所) TEL.053-444-3000 FAX.053-444-3005

〈浜松市受託事業〉高齢者相談センター新津

地域包括支援センター新津 TEL.053-444-3333 FAX.053-444-3335

〈サービス付き高齢者向け住宅〉

シャトー新橋 〒432-8058 浜松市中央区新橋町1245

TEL.053-442-8800 FAX.053-442-8810

〈介護医療院〉〈短期入所療養介護〉

和恵会ケアセンター(100床) 〒432-8061 浜松市中央区入野町6413

〈介護医療院〉〈短期入所療養介護〉

和恵会医療院(80床)

和恵会クリニック(高齢者精神科・内科)

TEL.053-440-5500(代表) FAX.053-440-5501

〈介護老人保健施設〉〈通所リハビリテーション〉〈短期入所療養介護〉〈訪問リハビリテーション〉

入野ケアセンター(150床) 〒432-8061 浜松市中央区入野町6417

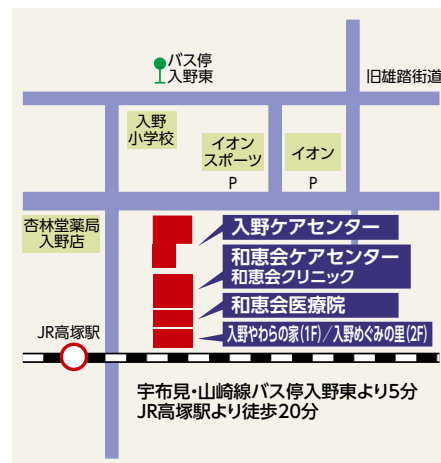
TEL.053-440-1200(代表) FAX.053-440-1201

南部地域連携室 TEL.053-440-1200 FAX.053-440-1201

訪問看護ステーション入野 TEL.053-440-3000 FAX.053-440-1551

ケアプランセンター入野 TEL.053-440-1203 FAX.053-440-1201

ヘルパーセンター浜松 TEL.053-440-1200 FAX.053-440-1201

宇布見・山崎線バス停入野東より5分
JR高塚駅より徒歩20分

〈認知症対応型共同生活介護・グループホーム〉

入野やわらの家[1F](18床) 〒432-8061 浜松市中央区入野町6410

TEL.053-440-3977(代表) FAX.053-440-9502

〈地域密着型通所介護〉

入野めぐみの里[2F]

TEL.053-440-9500(代表) FAX.053-440-9502

〈介護老人保健施設〉〈通所リハビリテーション〉〈短期入所療養介護〉〈訪問リハビリテーション〉

みずほケアセンター(100床) 〒433-8118 浜松市中央区高丘西2-32-36

TEL.053-414-2220(代表) FAX.053-414-2225

ケアプランセンターみずほ TEL.053-414-2222 FAX.053-414-2225

ヘルパーセンター浜松(みずほ出張所) TEL.053-414-2220 FAX.053-414-2225



高台線41バス停高丘町農協より徒歩3分

やまと株式会社

〈サービス付き高齢者向け住宅〉

シャトー高丘 〒433-8118 浜松市中央区高丘西2-32-30

TEL.053-437-5551(代表) FAX.053-437-5557

〈福祉用具貸与・特定福祉用具販売〉

やまとメディカル 〒433-8118 浜松市中央区高丘西2-32-30(シャトー高丘内)

TEL.053-437-5551(代表) FAX.053-437-5557

社会福祉法人 行和会

〈小規模多機能型居宅介護〉

舞阪の家 〒431-0214 浜松市中央区舞阪町弁天島2658-51

TEL.053-597-0170(代表) FAX.053-597-0177

〈地域密着型介護老人福祉施設〉

こうこうの里 〒432-8061 浜松市中央区入野町10825-1 TEL.053-440-7733 FAX.053-440-7738

〈特別養護老人ホーム〉

葵の里 〒433-8111 浜松市中央区葵西6丁目10-62

TEL.053-420-2220 FAX.053-420-2255